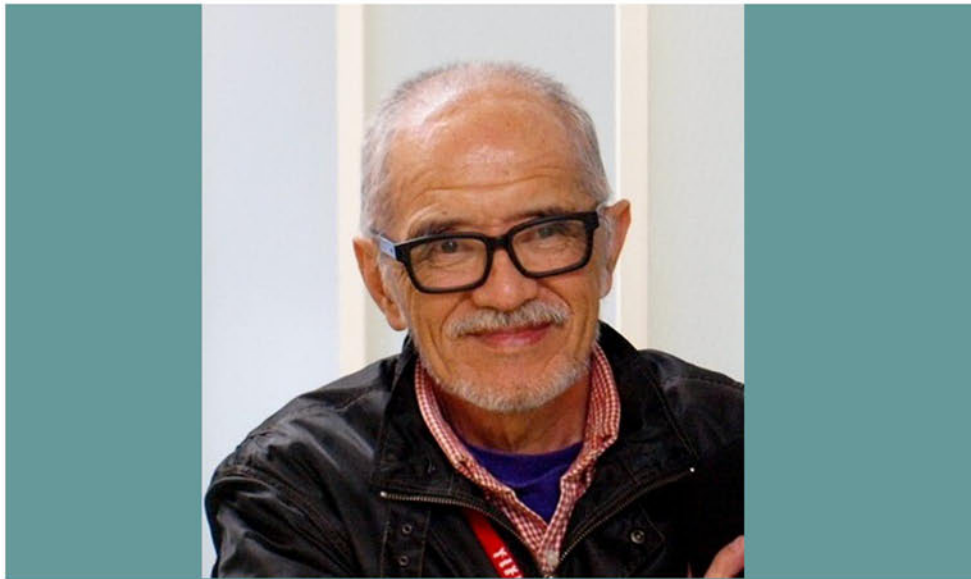


長戸稔さんと語る会

～アルコール依存症を克服した奇蹟の人～



新聞記者を経て、現在はPJニュースの記者として活動をしている長戸稔さん。彼の半生はまさに波瀾万丈でした。凄まじい、の一言です。

その彼の半生を綴った本「『アル中から奇蹟の人へ 長戸稔の半生』」が出版されました。読んだ人から、すでに凄い反響を得ています。

学生運動の旗手としての学生生活を終え、長戸さんは岸信介元首相のもとで、輝かしい青年時代を送ります。新聞記者として、ベトナム戦取材も命がけで行いました。しかし、長戸さんは、アル中となってからは、まさに地獄の生活を送ります。幻覚・幻聴に悩まされながら、独居房の中で一人もがき苦しみました。何度かのくも膜下出血やガンを経験し、医者からも何度か見放されました。しかしこの苦難を乗り越えて、生き抜いてきました。ついに長戸さんは苦労の末、断酒にやっとの思いで成功します。彼はこの22年間、一滴のアルコールも飲んでいません。長戸さんの生き様は、全国のアル中で苦しんでいる患者さんとその家族、ガンで苦しんでいる患者さんとその家族への熱く強いメッセージとなると思います。

今、長戸さんは末期ガンと闘う日々です。病氣と闘いながら多くの苦しんでいる人にメッセージを伝えたいということで今回の「語る会」が企画されています。三重大大学教授の児玉克哉氏との掛け合いの形で進めます。

日時：2010年5月25日15：00～17：00

場所：三重県人権センター3F中会議室

主催：（財）反差別・人権研究所みえ「平和問題研究グループ」

『アル中から奇蹟の人へ 長戸稔の半生』（イリス総合研究研究所）を読んでいただくと幸いです。当日も入手できます。前もっての入手は、<http://iris-research.com/nagato/>よりお願いします。なおこの講演会の会費は無料です。